船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告書

平成29年12月

数値目標·重要業績評価指標(KPI)一覧

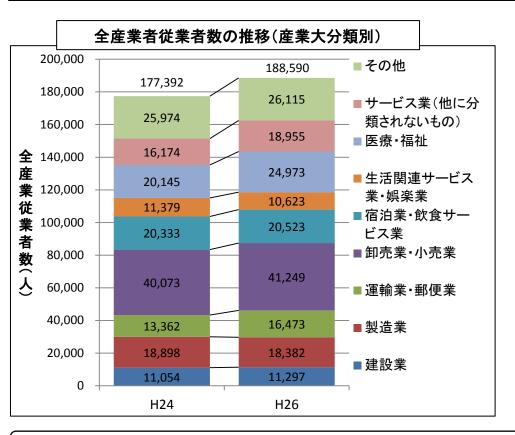
	基本目標・施策	数値目標・KPI	頁
本个日信! 割さたいしこと]かめ		• 全産業従業者数	2
るま	きち・船橋【しごとの創生】	・全産業の売上(収入)金額	3
	施策1 起業・創業の促進	・特定創業支援事業受講者のうち起業者数	4
	ルストを未る人のに定	・創業実践塾の参加者数	5
		• 製造品出荷額等	6
	施策2 企業の成長支援	・年間商品販売額(小売)	7
	ルポとエ来の次氏又版	・中小製造事業所(300人以下)の付加価値率	8
		・ホームページ等活用支援事業の補助件数	9
	施策3 企業誘致の促進	・立地等企業促進補助事業の認定件数	10
	施策4 農水産業の活性化	・農水産物の単価 ①なし ②小松菜 ③にんじん ④枝豆 ⑤ホンビノスガイ ⑥海苔 ※①~④は共販出荷における市場単価、⑤⑥は出荷額単価	11,12
	施策5 産業横断的な取組みの 推進	・共同ビジネスマッチング事業におけるマッチング件数	13
基本目標2 行ってみたい魅力が あふれるまち・船橋【魅力の創生】		・船橋市の滞在人口(24時間平均)	14
	施策1 船橋に行ってみたいと	・住みたい街ランキング	15
	思う魅力の情報発信	・ふなばしセレクションの市民認知度	16
	 施策2 船橋に行ってみたいと	• 観光入込客数	17
	思う魅力の創出	・船橋アリーナで開催する千葉ジェッツホームゲーム の平均観客動員数	18

	基本目標·施策	数值目標∙KPI	頁
	5目標3 結婚・出産・子育ての 星がかなうまち・船橋【ひとの創	• 合計特殊出生率	19
	施策1 独身者の結婚の希望 がかなう環境づくり	• 平均初婚年齡	20
	施策2 夫婦が希望どおり子供 を持てる環境づくり	・保育所等待機児童数(4月1日時点)	21
	施策3 安全に安心して子育て	・人にやさしい歩道の整備延長	22
	出来る環境づくり	・ICT環境が整備された学校数	23
	S目標4 いつまでも住み続けた ₹心・安全なまち・船橋【まちの E】	・船橋市を「住みよい」と感じる市民の割合(「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計)	24
	施策1 地域の実情に即した対 策の推進	・船橋市を「住みよい」と感じる市民の割合(「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計)【再掲】	24
	来の住 進	・管理不全な空家の適正化率	25
	施策2 進行する高齢化への対 応	・健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸	26
		・地域介護予防活動支援事業の補助団体数	27
		・ふなばしシルバーリハビリ体操指導士数	28
		・公園を活用した健康づくり事業実施公園数	29
		・生活支援コーディネーター配置地区数	30
		· 自主防災組織結成率	31
	施策3 市民が安全に安心して 暮らせる環境づくり	・地域防災リーダー養成講座の受講者数	32
		・自主防犯パトロール隊の結成率	33
	施策4 時代に合った魅力ある まちづくり	・公共施設等総合管理計画の策定	34
	施策5 船橋に愛着・誇りを持つ 取組みの推進	・船橋市に「愛着がある」と思う市民の割合	35

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

数值目標:全産業従業者数

策定時	現状	目標	評価
177,392人(H24)	188,590人(H26)	178,000人	目標達成



従業者数が千人以上増減した産業(産業中分類別)

産業中分類名	H24	H26	増減
道路貨物運送業	6,117	8,798	2,681
持ち帰り・配達飲食サービス業	1,782	2,889	1,107
医療業	12,095	14,797	2,702
社会保険・社会福祉・介護事業	7,901	10,099	2,198
職業紹介·労働者派遣業	4,115	6,022	1,907
その他の事業サービス業	8,154	9,530	1,376

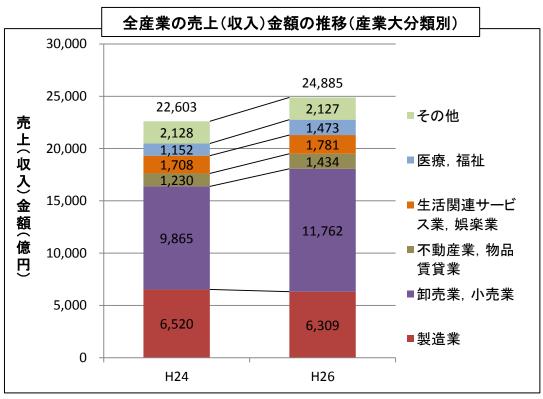
出所:経済センサス

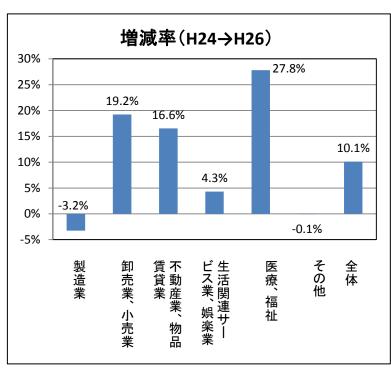
- 平成26年は188,590人と、平成24年の177,392人から11,198人増加した。産業大分類別でみると、運輸業・郵便業が+3,111人、卸売業・ 小売業が+1,176人、医療・福祉が+4,828人、サービス業(他に分類されないもの)が+2,781人となっている。
- ・ 産業中分類別に見ると、道路貨物運送業(+2,681)、持ち帰り・配達飲食サービス業(+1,107人)、医療業(+2,702人)、社会保険・社会福祉・介護事業(+2,198人)、職業紹介・労働者派遣業(+1,907人)、その他の事業サービス業(+1,376人)の増加が目立つ。
- 本指標は商工業戦略プランを基としており、新目標値の設定については、平成28年経済センサスの結果(平成30年6月公表予定)を見て、商工業戦略プラン推進会議にて検討する。

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】

数値目標:全産業の売上(収入)金額

策定時	現状	目標	評価
2兆2,603億円(H24)	2兆4,885億円(H26)	2兆3,507億円	目標達成





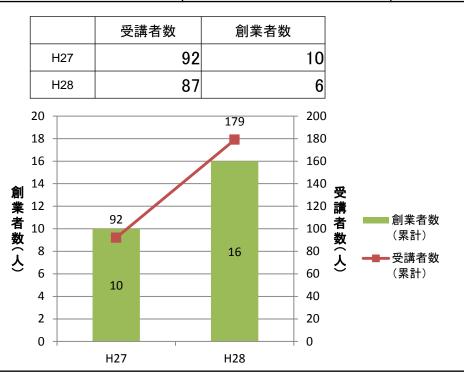
出所:経済センサス

- ・ 平成26年は2兆4,885億円と、平成24年の2兆2,603億円から2,282億円増加した。
- ・ 産業大分類別でみると、卸売業・小売業が+1,897億円、医療・福祉が+321億円、不動産業・物品賃貸業が+204億円となっている。また、 製造業が-211億円となっている。
- 本指標は商工業戦略プランを基としており、新目標値の設定については、平成28年経済センサスの結果(平成30年6月公表予定)を見て、商工業戦略プラン推進会議にて検討する。

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 施策1 起業・創業の促進

KPI: 特定創業支援事業受講者のうち起業者数

策定時	現状	目標	評価
事業開始(H27)	16人(H27~H28の累計)	200人(H27~H31の累計)	あまり順調でない



特定創業支援事業とは

【概要】

市区町村又は認定連携創業支援事業者が創業希望者等に行う、継続的な支援で、経営、財務、人材育成、販路開拓の知識が全て身に付く事業。

【支援制度】

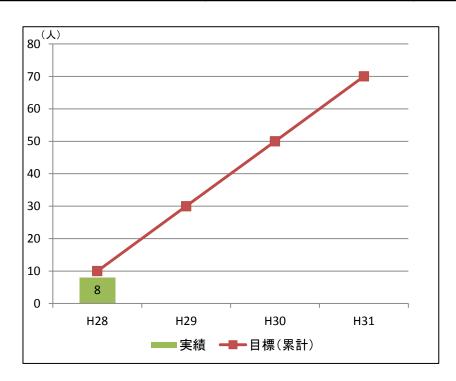
特定創業支援事業を受けた方に対し、市が証明書を発行することで次の支援を受けることができる。

- 船橋市において株式会社及び合同会社を設立する際の登録免許税の軽減
- 無担保、第三者保証人なしの創業関連保証の枠が1,000万 円から1,500万円に拡充
- 創業2ヵ月前から対象となる創業関連保証が、事業開始6ヵ 月前から対象
- 船橋市中小企業融資規則に基づき融資を受けた方が千葉県信用保証協会に支払う信用保証料を全額補給
- 本市では特定創業支援事業として、「ハッピー創業塾」を開催しているが、きめ細やかな創業支援を行うため、 定員を多く確保できない(5回のセミナーを受講することにより修了するコースを2ターム実施しているが、期間的にこれ以上実施することが難しい)。
- また受講者は、すぐの創業を目指している者ばかりではなく、現在はまだ企業で働いている人など、将来的に起業することを検討している者もおり、年間40人の目標に対し、実績は平成27年度10人、28年度6人となっている。
- しかしながら、定員は毎回ほぼ満員となっており、事業のニーズは高く、創業希望者への支援に寄与していると考えられる。
- 今後も創業に必要な知識を身に付けるために、きめ細やかな支援を行っていく。

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 <u>施策1 起</u>業・創業の促進

KPI: 創業実践塾の参加者数

策定時	現状	目標	評価
事業開始予定(H28)	8人(H28)	70人(H28~H31の累計)	順調



創業実践塾対象者

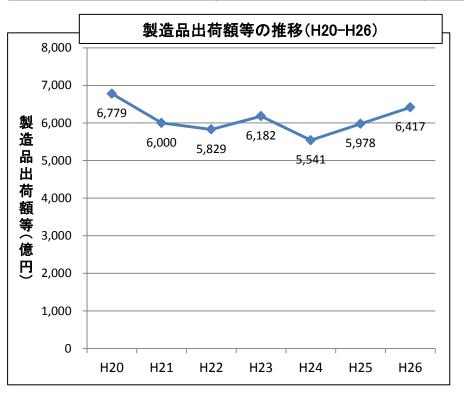
特定創業支援事業、または国(中小企業庁)の地域創業支援 事業「創業スクール」の受講者及び第二創業者のうち、本市で の創業を希望されている者(ただし創業5年未満のみ)

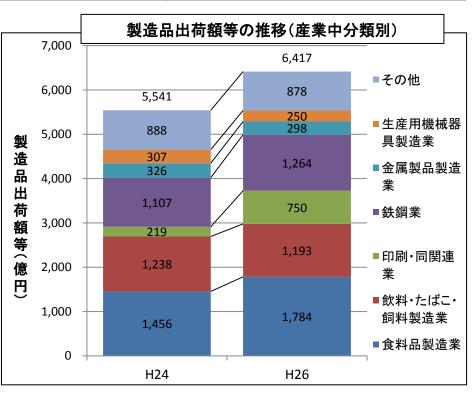
	日程(201	7年)	カリキュラムの主な内容	講 師	会 場	
	4.07.0(4)		オリエンテーション、自己紹介	浅井 鉄夫 ITC	40 15 #1 W	
-1	1月7日(土) 9:30~16:30	PM	各自のビジネスモデルの紹介 創業後の自社の経営分析	川井 久 ITC/中小企業診断士 田中 孝典 ITC	船橋勤労市民 センター	
	1月14日(土)	AM	会計・財務 実践 (実習)	小早川 渡 ITC/中小企業診断士		
2	9:30~16:30	PM	財務分析・評価(ワークショップ)	諸戸 將人 中小企業診断士		
	1月21日(土)	AM	最新のICTの活用事例	飛田 宏紀 ITC	船橋情報ビジネス	
3	9:30~16:30	PM	マーケティング	諸戸 將人 中小企業診断士	専門学校 3号館	
4	1月28日(土)	AM	HP、SNS、Webの活用(実習)	飛田 宏紀 ITC		
-	9:30~16:30	PM	Webマーケティング	飛曲 盆紀 110		
	0845(+)	AM	ビジネスモデルキャンパスの作成	田中 孝典 ITC	4/1 4/4 #L W + D	
5	2月4日(土) 9:30~16:30	PM	企業訪問のガイダンス	浅井 鉄夫 ITC	船橋勤労市民 センター	
			正来的同のパイクンハ	松田 博文 ITC/中小企業診断士		
6	2月18日(土)	AM	企業訪問 #1	1	訪問企業	
0	9:30~16:30	PM	ヒアリングのまとめ(グループ討議)		船橋勤労市民センター	
7	2月25日(土)	AM	企業訪問 #2	浅井 鉄夫 ITC	訪問企業	
,	9:30~16:30	PM	ヒアリングのまとめ(グループ討議)	松田 博文 ITC/中小企業診断士	船橋勤労市民センター	
8	3月4日(土)	AM	企業訪問 #3	1	訪問企業	
0	9:30~16:30	PM	ヒアリングのまとめ(グループ討議)		船橋勤労市民センター	
9	3月11日(土)	AM	発表準備(グループ作業)	浅井 鉄夫 ITC	船橋勤労市民	
9	9:30~16:30	PM	訪問企業のビジネスモデル発表	松田 博文 ITC/中小企業診断士	センター	
- 1	3月18日(土)	AM	自らのビジネスモデルの発表	浅井 鉄夫、 松田 博文、	船橋勤労市民	
0	9:30~16:30	PM	発表(続き)とクロージング	川井 久、 田中 孝典	センター	

- ・ 平成28年度は10回のセミナーを1タームとして、1ターム開催し、定員10名に対して、受講者は8名であった。
- 平成29年度以降は、毎年度2ターム実施することを計画していたが、充実した内容で実施するためには、年1タームの実施が限度であり、目標達成は難しい状況であるが、平成29年度より創業実践塾卒業者が市内で創業する際の事業所賃料補助を開始したことから、 今後参加者は増加すると見込んでいる。

KPI:製造品出荷額等

策定時	現状	目標	評価
5,541億円(H24)	6,417億円(H26)	5,763億円 ⇒新目標値6,650億円	目標達成(新目標値を設定)



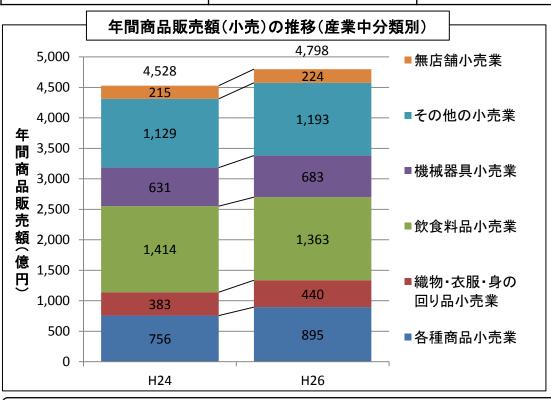


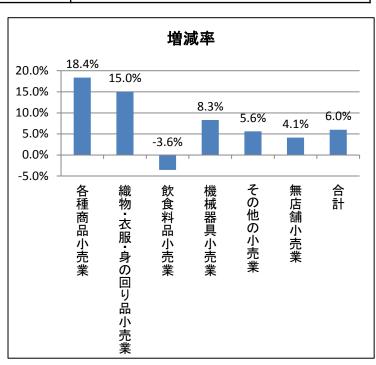
出所:工業統計調査・経済センサス

- 平成26年は6,417億円と、平成24年の5,541億円から876億円増加した。産業中分類別でみると、食料品製造業が+328億円、印刷・同 関連業が+531億円、鉄鋼業が+157億円増加している。
- ・ 策定時の目標である5,763億円を達成したことから、商工業戦略プランとともに、新目標値を設定する(6,650億円)。

KPI:年間商品販売額(小売)

策定時	現状	目標	評価
4,528億円(H24)	4,798億円(H26)	4,709億円	目標達成



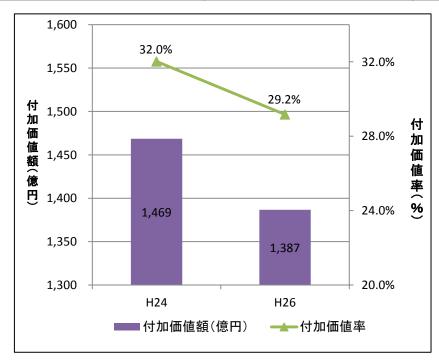


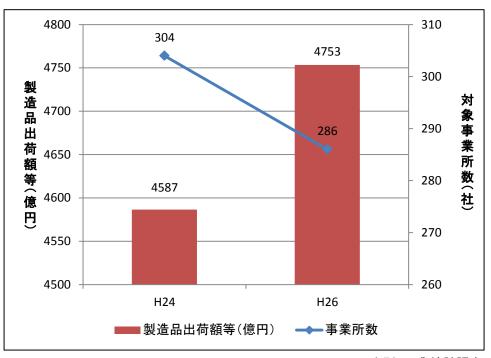
出所:商業統計調査・経済センサス

- 平成26年は4.798億円と、平成24年の4.528億円から270億円増加した。
- 産業中分類別でみると、各種商品小売業が+139億円、その他の小売業が+64億円、織物・衣類・身の回り品小売業が+57億円、機械 器具小売業が+52億円、無店舗小売業が+9億円となっている。また、飲食料品小売業が-51億円となっている。
- ・ 本指標は商工業戦略プランを基としており、新目標値の設定については、平成28年経済センサスの結果(平成30年6月公表予定)を見 て、商工業戦略プラン推進会議にて検討する。

KPI: 中小製造事業所(300人以下)の付加価値率

策定時	現状	目標	評価
32.0%(H24)	29.2%(H26)	34%	あまり順調でない





※付加価値率=付加価値額/製造品出荷額等

※付加価値額=売上高-費用総額+給与総額+租税公課

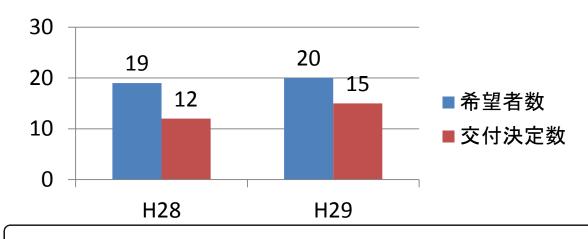
出所:工業統計調査

- 平成26年は29.2%と、平成24年より2.8%低下した。
- 平成24年より対象事業所数は18社減少しているが、製造品出荷額等は約166億円増加している。一方、製造品出荷額等の増加に対し、 付加価値額は約82億円減少していることから、全体的に薄利多売の事業形態が増加した可能性がある。
- ・ 今後は、既存工場の設備投資を促進する補助金の活用促進により、製品の付加価値率を上げることを目指す。

KPI:ホームページ等活用支援事業の補助件数

策定時	現状	目標	評価
事業開始予定	12件(H28) 15件(H29)※見込	40件 (H28~H31の累計)	順調

	希望者数	補助件数	内訳
H28	19	12	開設8、改修4
H29	20	15	開設10、改修5



制度概要

【対象者】

中小企業者又は商工業団体

【対象経費】

ホームページ開設又は改修に係る外部委託料(設備購入費、ランニングコストは除く)

【補助額】

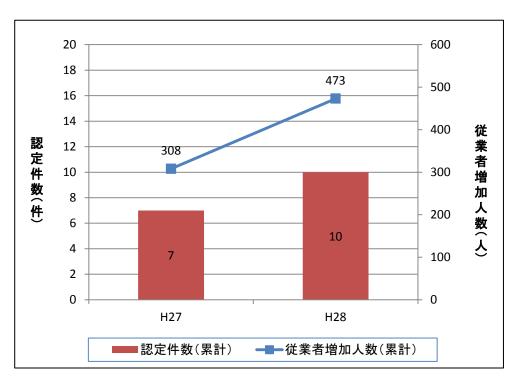
対象経費に2分の1を乗じて得た額(限度額15万円・1,000円未満切捨)

- 平成28年度は、計画を上回る19件の申請があったため抽選となり、12件補助を行った。
- 平成29年度は、より多くの事業者に補助を行うため、応募者多数の場合は、限度額10万円とする運用とし、15件補助を行える見込みとなっている。
- ホームページ開設・改修経費に対する補助だけでなく、講習会を開催することで、企業のICT活用を支援していく。
- 今後は市内団体等へ協力を依頼するなど、更なる制度周知に努め、目標達成を目指す。

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 施策3 企業誘致の促進

KPI: 立地等企業促進補助事業の認定件数

策定時	現状	目標	評価
制度開始(H27)	10件	30件	順調
[1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	(H27~H28の累計)	(H27~H31の累計)	에 다 다 에



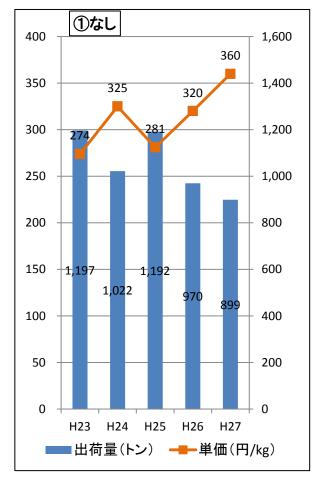
認定年度	種目	業種	認定時 従業者数	操業後 従業者数	従業者 増加人数
	新規立地	食品製造	_	207	207
	再投資 (中小)	土石製品製造	23	23	0
	新規立地	土石製品製造	_	14	14
27年度	再投資 (大企業)	食品製造業	100	172	72
	再投資 (小規模)	金属製品製造	5	5	0
	新規立地	橋梁製品製造	_	15	15
	再投資 (小規模)	機械製造	3	3	0
	再投資 (中小)	紙・パルプ製造	81	84	3
28年度	再投資 (中小)	食品製造	211	293	82
	新規立地	電気機械器具 製造	_	80	80
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	合計	473

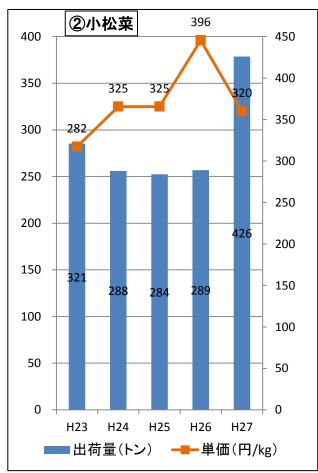
- 市内の5つの工業団体に周知を図り、H27年度7件、H28年度3件の認定を行った。
- 新規立地や再投資により、従業者が473人増加する見込みであり、雇用確保にも寄与している。
- 今後も制度周知に努め、目標達成を目指す。

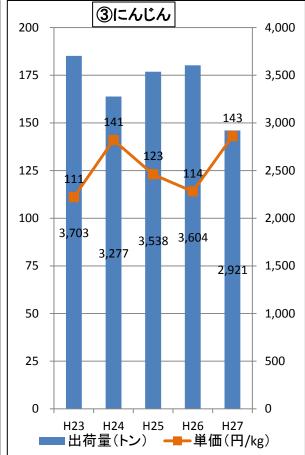
基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 施策4 農水産業の活性化

KPI:農水産物の単価 ①なし ②小松菜 ③にんじん ④枝豆 ⑤ホンビノスガイ ⑥海苔 ※①~④は共販出荷における市場単価、⑤⑥は出荷額単価

策定時	現状	目標	評価
①320円/kg ②396円/kg ③114円/kg ④1,319円/kg ⑤119円/kg ⑥10.3円/枚(H26)	①360円/kg ②320円/kg ③143円/kg ④881円/kg ⑤131円/kg ⑥12.9円/枚(H27)	高品質を維持し、より高値での 取引を目指す	順調

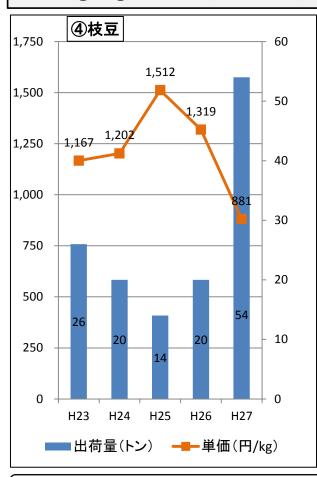


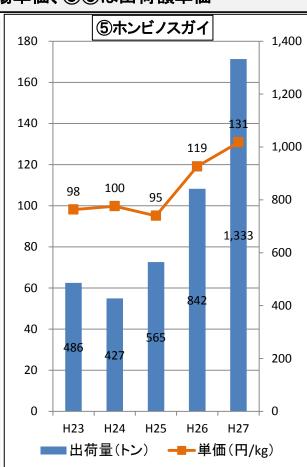


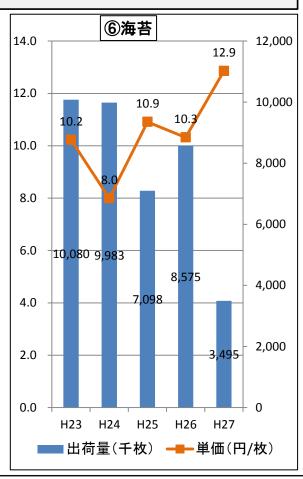


基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 施策4 農水産業の活性化

KPI:農水産物の単価 ①なし ②小松菜 ③にんじん ④枝豆 ⑤ホンビノスガイ ⑥海苔※①~④は共販出荷における市場単価、⑤⑥は出荷額単価







- H26年度と比較し、なし・にんじん・ホンビノスガイ・海苔は単価が上昇している。また、小松菜・枝豆についても、単価は減少しているものの、出荷量は増加しており、高品質の維持・高値での取引に向け順調といえる。
- 札幌市及び有楽町駅前等におけるなしのPR活動や、ソラマチひろば・鎌ケ谷スタジアム・KITTEにおける小松菜のPR、大井競馬場や 流通関係者向けの大田市場でのにんじんのPR活動など、農産物の周知に努めている。
- 水産物についても、直売所や市内外のイベントでの販売により、販路拡大に向けた取り組みを行っている。

基本目標1 働きたい「しごと」があるまち・船橋【しごとの創生】 施策5 産業横断的な取組みの推進

KPI: 共同ビジネスマッチング事業におけるマッチング件数

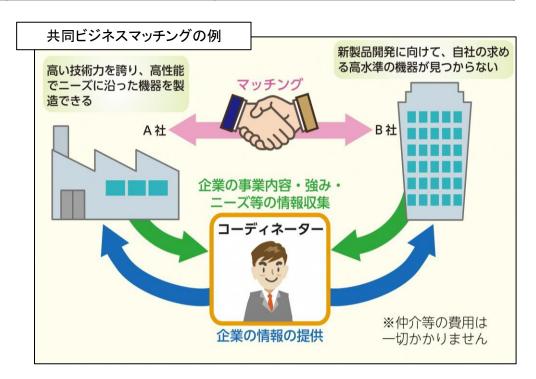
策定時	現状	目標	評価
事業開始予定(H28)	21件(H28)	40件 (H28~H31の累計)	順調

28年度実績

情報収集事業所件数	539件
マッチング実施件数	21件



6月に1名、7月に1名 コーディネーターを採用

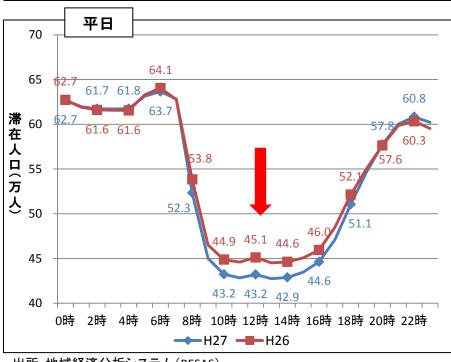


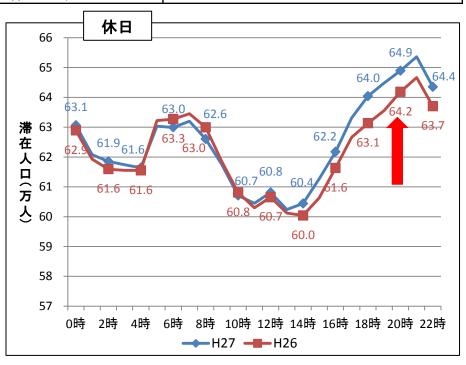
- 船橋商工会議所にて、コーディネーターを2名採用し、企業訪問、マッチングを実施し、21件を引き合わせた。
- コーディネーターの紹介を兼ねた当事業の紹介を、広報ふなばしに掲載しており、今後も制度周知に努める。
- H29年度は、企業データベースを構築し、ビジネスマッチングを効果的に進めるとともに、外部から利用できるマッチングシステムの構築を推進する。

基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】

数値目標:船橋市の滞在人口(24時間平均)

策定時	現状	目標	評価
平日544,792人	平日538,129人	平日570,000人	あまり順調でない
休日621,908人 (H26)	休日624,742人(H27)	休日650,000人	めまり順調でない





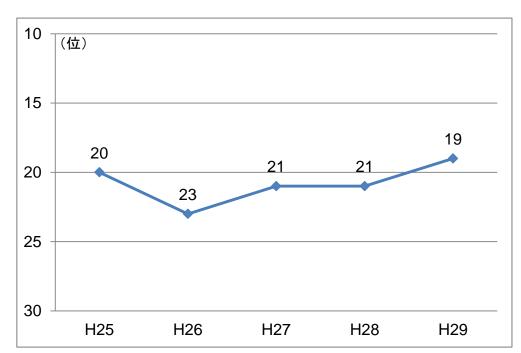
出所:地域経済分析システム(RESAS)

- ※ 滞在人口は、各時点における滞留時間が2時間以上の人口。
- 滞在人口のH26とH27の実績を比較すると、休日は2,834人増加したのに対し、平日は6,663人減少した。
- 時間帯別で見ると、休日は16時以降の夕方・夜間が増加しており、平日は8時~18時の日中が減少している。
- 今後、滞在人口を増加させるためには、市の魅力を発信・創出することにより、市外からの来訪者を増加させるほか、市内事業所の従 業者数の増加により昼間人口を増加させる必要がある。

基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】 施策1 船橋に行ってみたいと思う魅力の情報発信

KPI: 住みたい街ランキング

策定時	現状	目標	評価
県内1位(関東地方21位) (H27)	県内1位(関東地方19位) (H29)	県内1位の維持	順調



出所:「みんなが選んだ住みたい街ランキング」(2013~2017) リクルート住まいカンパニー調べ

関東在住者が選ぶ住みたい行政市区ランキング(平成29年)

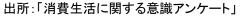
1位	港区	16位	大田区
2位	世田谷区	17位	さいたま市大宮区
3位	目黒区	18位	横浜市港北区
4位	千代田区	10/4	船橋市
5位	中央区	19位	横浜市青葉区
6位	文京区	01/4	練馬区
7位	品川区	21位	藤沢市
8位	鎌倉市	23位	江東区
9位	渋谷区	24位	さいたま市浦和区
10位	杉並区	25位	豊島区
11位	新宿区	26位	立川市
12位	横浜市中区	27位	浦安市
13位	横浜市西区	28位	横浜市神奈川区
14位	武蔵野市	29位	市川市
15位	中野区	30位	台東区

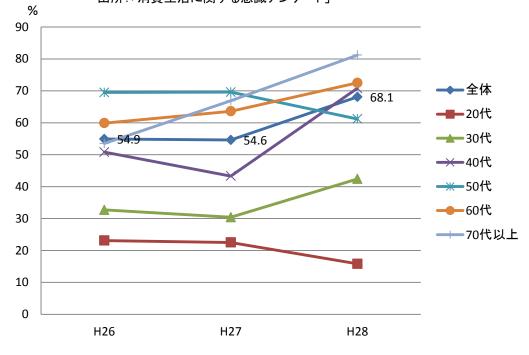
- 「みんなが選んだ住みたい街ランキング2017関東版」(リクルート住まいカンパニー)によると、船橋市は関東在住者が選ぶ住みたい行政市区ランキングで19位、千葉県内では1位となっている。
- また不動産・住宅情報サイトHOME'Sが実施した「2017年首都圏版住みたい街ランキング」では、買って住みたい街1位となっている。
- 今後も住みたいと思われる都市ブランドを確立し、住んで良かったと思われるまちづくりを推進していく。

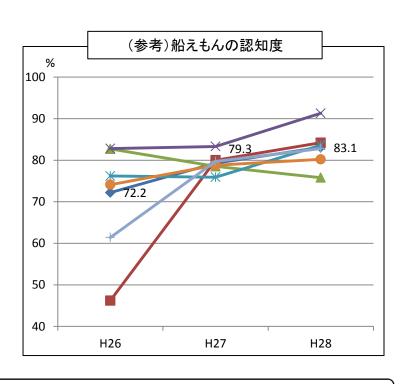
基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】 施策1 船橋に行ってみたいと思う魅力の情報発信

KPI: ふなばしセレクションの市民認知度

策定時	現状	目標	評価
54.9%(H26)	68.1%(H28)	70%	順調





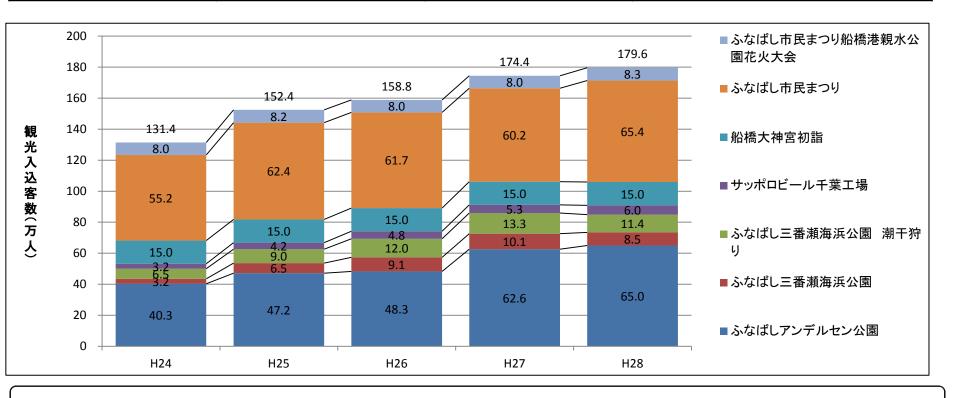


- 積極的にイベントに参加するなど、様々なPRを行っている効果もあり、H28年度は68.1%と認知度が上昇している。
- 年代別にみると、20代・30代の認知度が50%を割っており、若年層への周知が必要である。
- 一方、ふなばし産品ブランドPRキャラクターである「船えもん」の認知度は若年層でも高いため、ふなばしセレクションの認知度向上に向け、船えもんを活用することが有効と考えられる。

基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】 施策2 船橋に行ってみたいと思う魅力の創出

KPI: 観光入込客数

策定時	現状	目標	評価
1,588,484人(H26)	1,795,992人(H28)	2,000,000人	順調



- 観光入込客数は年々増加しており、H28年は前年より約5万人増加し、1,795,992人となった。
- 特に「ふなばしアンデルセン公園」の来場者増加が目立っている。
- 今後も積極的に観光施設のPRを行うとともに、魅力あるイベントを実施し、観光入込客数の増加を目指す。

基本目標2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】 施策2 船橋に行ってみたいと思う魅力の創出

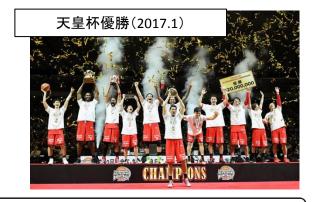
KPI: 船橋アリーナで開催する千葉ジェッツホームゲームの平均観客動員数

策定時	現状	目標	評価
2,096人 (2014-2015シーズン)	4,354人 (2016-2017シーズン)	4,500人	順調



ホームゲーム年間入場者数10万人突破(2015-16)



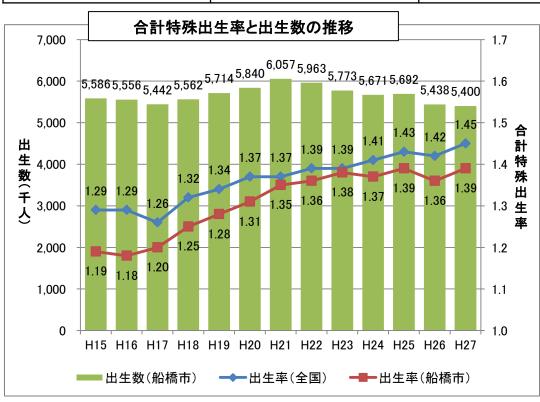


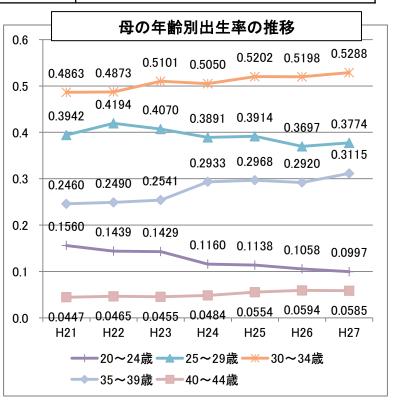
- 策定時と比較し、平均観客動員数は2,258人増加しており、目標達成に向けて順調である。
- ホームタウンふなばしDAYを開催し、市民が千葉ジェッツを一体となって応援する場を提供したほか、市の広報紙・動画等によるPRや、 市内各小中・特別支援学校へチラシによる広報を行った。
- ・ 平成29年7月1日より名称が「千葉ジェッツふなばし」となり、さらに地域一体となって応援していく。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】

数值目標:合計特殊出生率

策定時	現状	目標	評価
1.39 (H25)	1.39 (H27)	1.43	あまり順調でない



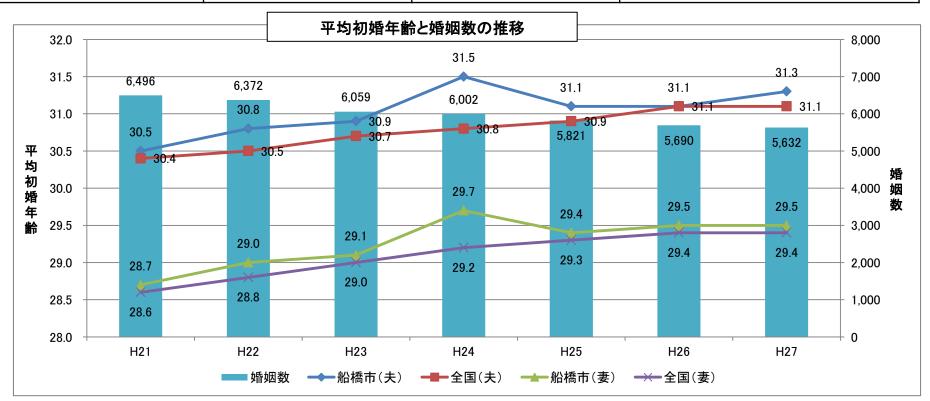


- 近年、合計特殊出生率は回復傾向にあったが、平成26年(1.36)は平成25年(1.39)と比べて低下し、平成27年は再び1.39に戻した。
- 母の年齢別で見ると、30歳代の出生率が上昇傾向にある一方、20歳代の出生率が低下傾向にある。
 - ・ 平成31年の目標値1.43、ひいては市民希望出生率1.73の達成に向けては、20歳代の出生率を上昇させていく必要があると考えられる。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】 施策1 独身者の結婚の希望がかなう環境づくり

KPI: 平均初婚年齡

策定時	現状	目標	評価
夫31.1歳・妻29.4歳	夫31.3歳・妻29.5歳	夫30.9歳・妻29.3歳	あまり順調でない
(H25)	(H27)	(H25の全国平均値)	のより順調でない



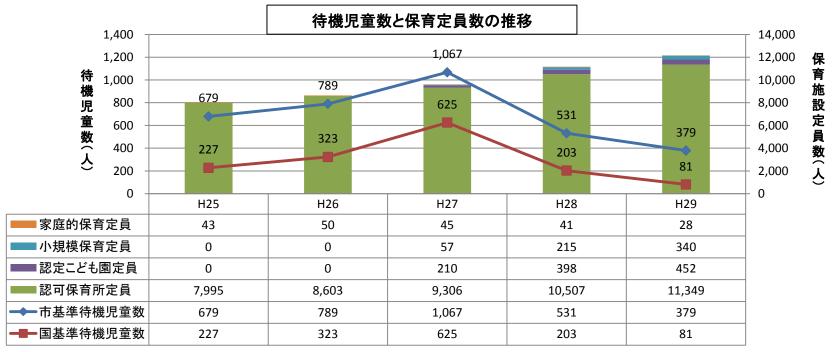
※厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し、市が算出

- 平成25年と比較して、夫は31.1歳から31.3歳に、妻は29.4歳から29.5歳に、それぞれ上がった。20歳代の出生率が低下している背景として、晩婚化が一因と考えられる。
- 国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」によると、平均希望結婚年齢は男性30.4歳、女性28.7歳となっており、希望と現実に差が生じている。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】 施策2 夫婦が希望どおり子供を持てる環境づくり

KPI: 保育所等待機児童数(4月1日時点)

策定時	現状	目標	評価
国基準625人	国基準81人	解消を目指す	加克曼田
市基準1,067人 (H27)	市基準379人 (H29)	一 一 一 一 一 一 一 一 円 で 日 拍 9 	順調



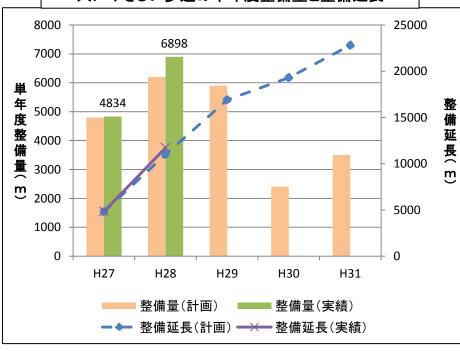
- ※ 各年4月1日現在の数値
- ※ 市基準待機児童数は、保育園・認定こども園・家庭的保育・小規模保育の利用申込者のうち、転園希望・認証保育所利用者を除いた数。国基準待機児童数は、市基準の待機児童から育児休業中の場合や近くに利用可能な保育園等があるのに特定の保育園等のみを希望している場合などを除いた数。
- 待機児童の早期解消に向け、平成27年6月に策定した「船橋市待機児童解消緊急アクションプラン」に基づき、保育の受入枠の拡大と 保育士確保に係る各種施策を実施した。
- これにより待機児童数は、平成27年と比較すると、市基準については1,067人から379人、国基準については625人から81人に減少し、 効果が表れている。今後も待機児童解消に向け、施策を推進する。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】 施策3 安全に安心して子育て出来る環境づくり

KPI:人にやさしい歩道の整備延長

策定時	現状	目標	評価
整備計画策定(H26)	11,732m (H28)	22,800m	順調

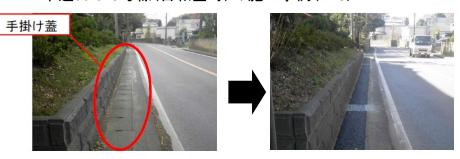
人にやさしい歩道の単年度整備量と整備延長



市道00-160号線(宮本7丁目)の施工事例(H27)



市道00-013号線(古和釜町)の施工事例(H28)



- 整備計画では、平成27年度4,800m、平成28年度6,200mであるのに対し、実績では、4,834m、6,898mと、計画より進捗が進んでいる。
- 引き続き、目標達成に向け整備を行っていく。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち・船橋【ひとの創生】 施策3 安全に安心して子育て出来る環境づくり

KPI:ICT環境が整備された学校数

策定時	現状	目標	評価
小学校1校 中学校1校(H27)	小学校1校 中学校全27校(第2学年) (H28)	全54小学校(6年生) 全27中学校(全学年)	順調

※電子黒板が導入され、デジタル教科書による授業が行われている学校数







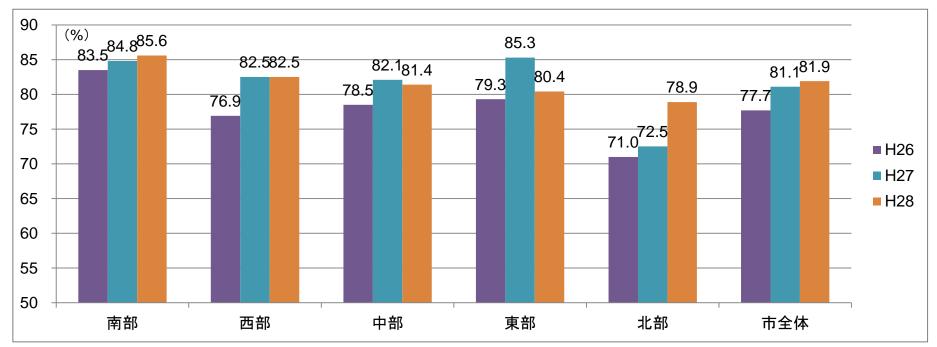
デジタル教科書・ICT機器活用教員の声

- 文章で見るより動画の方が理解が深まる様子 が見られ、その次の回の小テストも正答率が 高かった。
- 班ごとの発表内容が視覚からも共有できる。また、他学級のものも保存しておけるので、良い意見を紹介することができる。
- 物質のモデル図を目の前で動かして化学反応式をつくるので視覚的に理解することができる。
- ・ 生徒が電子黒板を使用することで、発表する 生徒も聞く生徒も、授業に対する関心・意欲・ 態度が向上したように感じる。生徒間の言語 活動が活発になった。
- 平成27年度モデル校(坪井小学校、古和釜中学校)への導入からはじまり、平成28年度は中学校全27校の第2学年に電子黒板を整備 した。
- ICT機器を活用した教員や生徒の声は好評で、成績向上にもつながっている。
- ICT機器導入校での実践の様子を公開したり、教職員の研修を行うことで、ICT機器の活用を推進していく。

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】

数値目標:船橋市を「住みよい」と感じる市民の割合(「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計)

	策定時	現状	目標	評価
中部	83.5%•西部76.9% 78.5%•東部79.3% 部71.0% (H26)	南部85.6%•西部82.5% 中部81.4%•東部80.4% 北部78.9% (H28)	全地域80%以上	順調



出所:船橋市市民意識調査

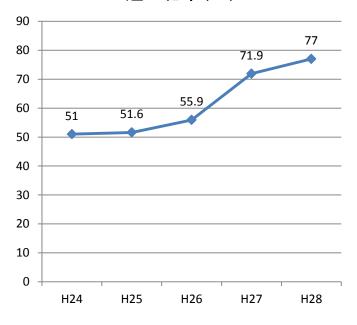
- 全地域とも、策定時の平成26年と比較すると、「住みよい」と感じる人の割合は増えており、南部・西部・中部・東部地域では80%を超えている。北部地域についても、78.9%と80%に迫っている。
- 住みにくい理由(市全体)は、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」がもっとも多いものの、55.6%(H13)→52.4% (H18)→43.8%(H23)→42.7%(H28)と、都市基盤整備の推進により、減少傾向にある。
- 北部地域の住みにくい理由は、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」が56.3%ともっとも多く、「通勤・通学に不便だから」が43.8%と次に多いことから、生活利便性の確保が課題である。

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策1 地域の実情に即した対策の推進

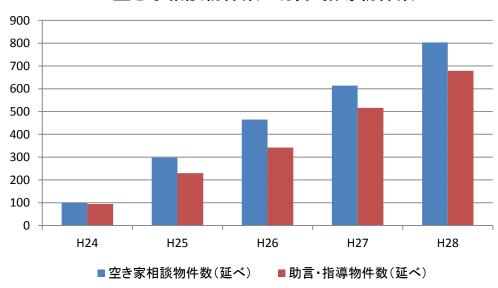
KPI: 管理不全な空家の適正化率

策定時	現状	目標	評価
55.9%(H26)	77.0%(H28)	95%	順調

適正化率(%)



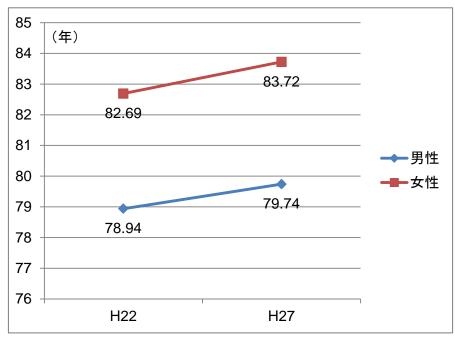
空き家相談物件数と助言・指導物件数



- 空き家相談物件数は増加しているが、助言・指導を行うことにより、適正化率は年々上昇している。
- 庁内関係各課が連携を密にすることで、所有者等に対する指導を効果的に実施することができた。
- 平成29年度に空き家等対策計画を策定し、その後は計画的に総合的な対策を実施していく。

KPI:健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸

策定時	現状	目標	評価
男性78.94年 女性82.69年 (H22)	男性79.74年 女性83.72年 (H27)	確実な延伸	順調



【健康寿命】

ある健康状態で生活することが期待される平均期間(またはその指標の総称を)をいう。

算出の方法は3種類示されているが、ここでは介護保険の要介護認定者数を用いて算出する「日常生活動作が自立している期間の平均(※)」を採用している。

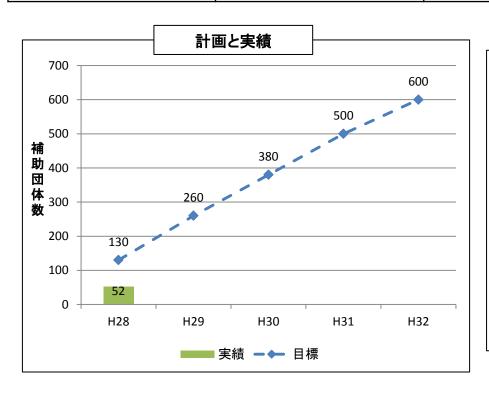
※ 健康な状態を、日常生活動作が自立していることと規定 し、介護保険の要介護度の要介護2~5を不健康(要介 護)な状態、それ以外を健康(自立)な状態とするもの。

※厚生労働科学研究「健康寿命の算定プログラム」により算出

- 平成22年度と比較すると、男性は78.94年から79.74年、女性は82.69年から83.72年と、どちらも向上している。
- 「健康寿命の延伸」を大目標に掲げている「ふなばし健やかプラン21(第2次)」における分野計画のうち、平成27·28年度は「運動・身体活動」および「食生活」を重点分野として取組んだ。
- 平成29年度は現在の取り組みを継続しつつ、「歯・口腔」を重点分野として取組んでいく。

KPI: 地域介護予防活動支援事業の補助団体数

策定時	現状	目標	評価
事業開始予定(H28)	52団体(H28)	500団体	あまり順調でない



制度概要

【補助対象となる介護予防活動】

参加者の8割以上が65歳以上の市民で、運動器の機能向上を 目的とした、1回あたり30分以上行われる体操

【対象団体】

次のすべてに該当する団体

- 市民10人以上で構成された団体
- 介護予防活動を定期的に行う団体
- 団体のメンバー以外の人の参加を受け入れることが可能な 団体

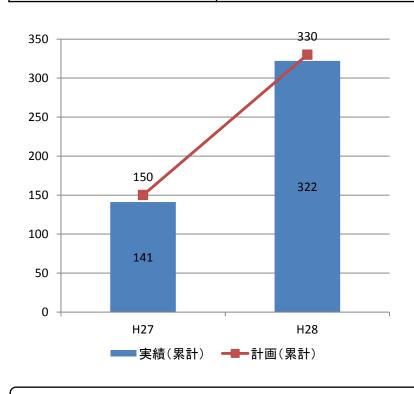
【補助対象】

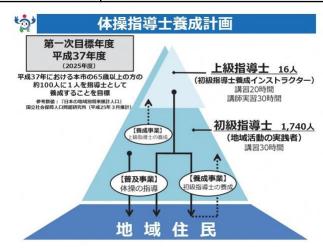
- 補助対象費用:介護予防活動を行うために使用する会場の 使用料、必要な消耗品の購入費用 など
- 補助率上限:80%
- 補助限度額:10万円

- 平成28年度は130団体を目標としていたが、52団体と目標を達成できなかった。
- 申請数が伸び悩んだ理由として、初年度で周知が不十分だったことが考えられるので、今後、文化系サークルなどへの周知を強化している。

KPI: ふなばしシルバーリハビリ体操指導士数

策定時	現状	目標	評価
事業開始(H27)	322人(H28)	870人	順調





初級体操指導士主催体操教室

<u>NWMMJ4-1EMXX-</u>				
	平成27年度	平成28年度		
開催場所数	12か所	49か所		
指導士(延数)	78人	1,538人		
参加人数(延数)	904人	10,630人		

- 初級体操指導士の養成講習会を6コース開催し、H27年度141人、H28年度181人を初級指導士として認定した。累計322人となり、目標 達成に向け順調である。
- ・ 初級体操指導士主催体操教室も開催場所数・指導士数・参加人数全てが大幅に増加しており、シルバーリハビリ体操の取り組みが多 - くの方に広がっている。

KPI: 公園を活用した健康づくり事業実施公園数

策定時	現状	目標	評価
3公園 (H27)	15公園 (H28)	54公園	順調

公園を活用した健康づくり事業 実施状況(H28.4~H29.3)

			(H28.4~H29.3)
No	実施場所	実施回数	延べ参加者数
1 3	薬円台公園	21	1,462
2	長津川親水公園	21	1,056
3 \$	新高根5丁目公園	22	734
4	二宮公園	24	390
5	芝山南公園	185	3,122
6	大穴第2号公園	77	2,241
7 #	船橋大神宮	5	127
8 /	小室公園	166	5,390
9 1	卸滝公園	168	17,010
10	二和西公園	171	6,087
11	田喜野井南公園	17	323
12	三山陽栄広場	119	3,083
13	大穴新谷津公園	92	2,049
14	<u>駿河台交差点花広場</u>	82	588
15]	東船橋第1号公園	48	344
	合計	1,218	44,006

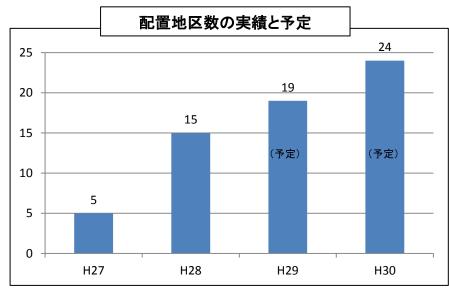
身近な公園で健康づくり!フェスタ (H29.1月 運動公園体育館)



- 平成28年度は新たに、二宮公園、芝山南公園、大穴第2号公園、船橋大神宮、小室公園、御滝公園、二和西公園、田喜野井南公園、 三山陽栄広場、大穴新谷津公園、駿河台交差点花広場、東船橋第1号公園で事業を開始した。
- また事業検討会議を開催し、健康づくりメニューを提供できるボランティア団体を公募したほか、自治会等のアンケートによる情報収集、 広報・ホームページ・イベント・保健活動等による周知を図った。

KPI: 生活支援コーディネーター配置地区数

策定時	現状	目標	評価
5地区(H27)	15地区(H28)	全地区(24地区)	順調



H27 湊町、法典、高根・金杉、前原、八木が谷 H28 海神、葛飾、本中山、高根台、高芝、薬円台、三山・田喜野 井、習志野台、二和、大穴

生活支援コーディネーターとは

【概要】

地域における高齢者の生活支援等サービス(助け合い活動等)の体制整備を推進していくことを目的に、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たすため、市町村ごとに配置する法人または個人。

市では、生活支援コーディネーターの配置に係る業務を「社会福祉法人船橋市社会福祉協議会」に委託している。

【主な役割】

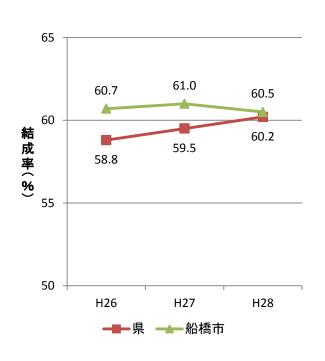
- 各地区内における生活支援等サービス(助け合い活動等)の 体制整備、普及啓発活動
- サービスの担い手の発掘・育成、ニーズとサービスのマッチング
- 生活支援等サービスの体制整備にあたり必要な地域の各団 体のネットワークの構築

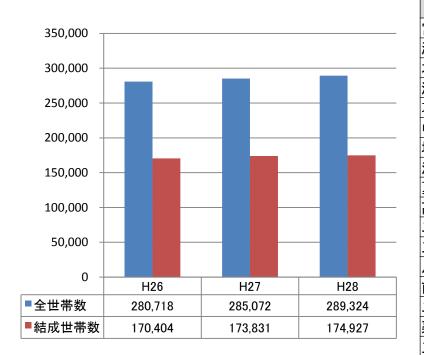
- 当初計画では、H28年度で11地区であったが、配置を前倒しした地区が4地区あり、合計15地区となった。
- 生活支援コーディネーターを配置したことによる効果として、配置された地区におけるボランティアの人数が増加している。(地区社協 ボランティア218名増)

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策3 市民が安全に安心して暮らせる環境づくり

KPI: 自主防災組織結成率

策定時	現状	目標	評価
61.0%(H27)	60.5%(H28)	70%	あまり順調でない





- ・ 平成28年度時点において、県平均は超えている。
- 平成26年度からH28年度にかけて、結成率は下がっているが、各年の結成世帯数より、転入等による 世帯の増加数が多いため、着実に結成世帯数は伸びているといえる。
- 地域別にみると結成率が極端に低い地域があり、地域格差を埋めていく必要がある。

地区名	結成率
宮本	47.9%
湊町	50.9%
本町	43.1%
海神	65.7%
葛飾	68.4%
中山	63.9%
塚田	53.3%
法典	68.2%
夏見	65.3%
高根•金杉	69.1%
二和	18.7%
三咲	33.3%
八木が谷	60.9%
前原	62.2%
二宮・飯山満	60.6%
薬円台	15.5%
三山•田喜野井	60.6%
高根台	71.7%
新高根•芝山	72.3%
松が丘	83.4%
大穴	76.3%
習志野台	89.0%
豊富	39.8%
坪井	66.8%

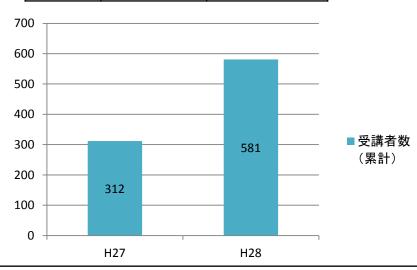
基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策3 市民が安全に安心して暮らせる環境づくり

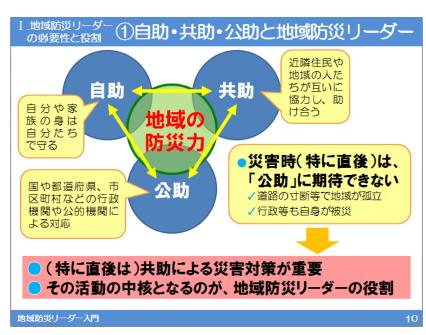
KPI: 地域防災リーダー養成講座の受講者数

策定時	現状	目標	評価
347人(H26)	581人(H27~H28累計)	1,500人 (H27~H31累計)	順調

地域防災リーダー養成講座参加人数・団体数

	人数	
H27	312	208
H28	269	176





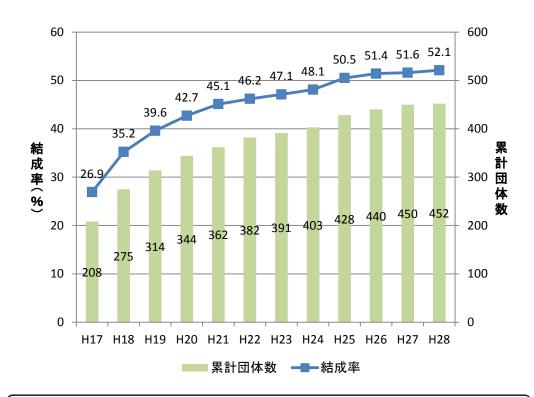
出所:「地域防災リーダー入門」テキスト(内閣府)

- ・ 自主防災組織の新規結成及びより一層の活動促進を目標に、講演と実技(ワークショップ等)を取り入れた「地域防災リーダー養成講 座」を年3回開催し、H27年度は延べ312人(208団体)、H28年度は延べ269人(176団体)の参加があった。
- 引き続き自主防災組織結成や活動の促進につながる内容の講座を開催していく。

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策3 市民が安全に安心して暮らせる環境づくり

KPI: 自主防犯パトロール隊の結成率

策定時	現状	目標	評価
51.4%(H26)	52.1%(H28)	55%	順調



- ・ 平成26年度より12団体増加し、結成率は52.1%に向上した。
- 自主防犯パトロール隊の結成により、市民の防犯意識が向上しており、 自主防犯活動が広まっていると考える。
- 結成促進のため、広報ふなばしに自主防犯パトロール隊への補助制度についての記事を掲載し、周知を図っている。

H28年度末

グロック (町会・自治会 数)	地区名	結成数	結成率	ブロック別集計	
	宮本	10	50.0%		
南部	湊町	11	47.8%	結成数:51	
(92)	本町	10	76.9%	結成率:55.4%	
	海神	20	55.6%		
	葛飾•西船	12	66.7%		
西部	中山·本中山	15	83.3%	結成数:75	
(117)	塚田	27	57.4%	結成率:64.1%	
	法典	21	61.8%		
	前原	14	70.0%		
古 ☆7	二宮・飯山満	40	50.6%	《士 广 */- 10 7	
東部 (211)	薬園台	14	63.6%		
(211)	三山·田喜野井	32	51.6%	和以华.00.2%	
	習志野台	27	96.4%		
	夏見	12	60.0%		
中部	高根•金杉	15	51.7%	結成数:58	
(101)	高根台	7	46.7%	結成率:57.4%	
	新高根•芝山	24	64.9%		
	二和	15	18.5%		
	三咲	14	18.7%		
ᆚᄼᅕᇚ	八木が谷	26	60.5%	6+ - * 	
北部 (247)	松が丘	27	65.9%	結成数:141 結成率:40.6%	
(347)	大穴	34	61.8%	和以华:40.0%	
	豊富	14	38.9%		
	坪井	11	68.8%		

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策4 時代に合った魅力あるまちづくり

KPI: 公共施設等総合管理計画の策定

策定時	現状	目標	評価
策定着手(H27)	公共施設等総合管理計画策定(H28)	平成28年度中の公共施設等総合管理計画策定 平成31年度中の個別施設計画策定	順調

公共施設等の老朽化

将来の人口動態

厳しい財政状況

将来にわたり安全で安心できる快適なサービスを提供するために…

〔公共施設等の管理に関する基本方針〕

公共施設等の最適な配置

- i. 地域により二極化する人口動態を踏まえて、新規施設整備及び統廃合・転用等、施設総量の最適化を推進する。
- ii. 将来の人口動態を踏まえて、人口が増加する時期(0~10年後)、人口が減少する時期(11~20年後)、人口減少が加速する時期(21~43年後)ごとに、施設配置と施設総量の最適化を推進する。

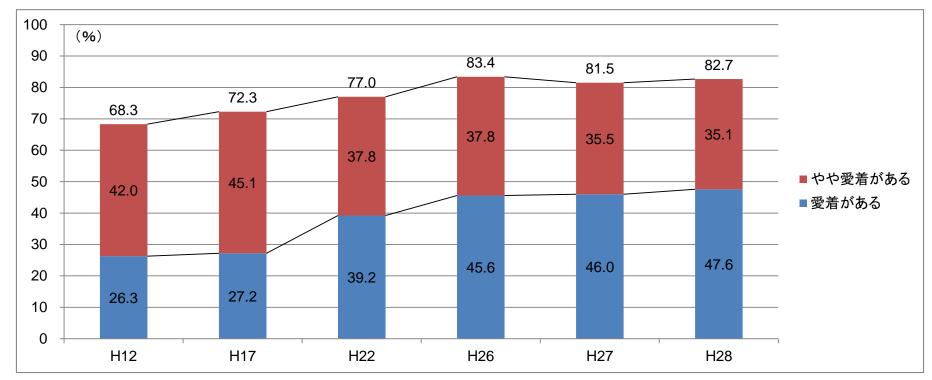
安全安心な公共施設等の整備

- 一今後一斉に建替え時期を迎える施設や、老朽化対策の遅れている施設に対して、予防保全や長寿命化を推進する。
- ii. すでに作成されている保全計画や各長寿命化計画を基本とした整備を推進する。
- 平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定した。
- 施設ごとの情報を集約し分析を行う施設カルテを作成し、公共建築物保全計画とあわせて個別施設計画の策定とし施設の方向性等を 検討していく。
- 地域的に公共施設等の再配置が有効と考えられる場合には、市民と意見交換を行いながら施設の再配置検討を行っていく。

基本目標4 いつまでも住み続けたい安心・安全なまち・船橋【まちの創生】 施策5 船橋に愛着・誇りを持つ取組みの推進

KPI: 船橋市に「愛着がある」と思う市民の割合

策定時	現状	目標	評価
83.4% (H26)	82.7% (H28)	85%	順調



出所:船橋市市民意識調査

- •「愛着がある」と「やや愛着がある」の合計は、平成28年度は82.7%と8割を超える高い水準を維持している。
- 策定時の平成26年度の83.4%と比較すると微減しているが、「愛着がある」と答えた人の割合は、45.6%から47.6%に増加している。
- 市制施行80周年の平成29年度は、市民が市への愛着を深める様々なイベントを開催する。